

令和8年度 第1回豊橋市総合教育会議議事録要録

令和8年7月3日 開 催

豊 橋 市 教 育 委 員 会

第 1 回 総合教育会議				
日 時	令和 8 年 7 月 3 日（金）午後 3 時 00 分～ 4 時 05 分			
場 所	市役所東館 4 階 政策会議室			
構成員	長坂 尚登	市長	原田 憲一	教育長
	内浦 有美	教育委員	渡辺 嘉郎	教育委員
	中島 美奈子	教育委員	西島 豊	教育委員
事務局	石川 和志	教育部長	伊丹 浩之	教育監
	鈴木 大介	財政課長	木全 功	教育政策課長
	夏目 裕介	学校教育課長	太田 一郎	教育会館長
その他	傍聴人 5 名			

議 事 日 程

☐協議事項

- 1 豊橋市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

☐連絡事項

次回開催日程 令和 8 年 8 月 2 4 日（月）15：00～

(教育部長)

ただいまから、令和8年度第1回豊橋市総合教育会議を開催いたします。お手元の次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。本日の協議事項は、「豊橋市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」です。それでは、資料1を事務局から説明してください。

協議事項

1 豊橋市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

■学校教育課主幹 協議事項について資料説明

(教育部長)

それでは、説明に対する皆さまのご意見などをお聞かせいただければと思います。

(渡辺委員)

時間外在校等時間が減少することによって、教職員の負担が逆に増えるケースは考えられますか。

(学校教育課主幹)

仕事の持ち帰りといった形で、実質的に時間外在校等時間が減少しないということが考えられます。

(渡辺委員)

時間外在校等時間の削減は必要だと思います。一方で、子どもたちの「生きる力」を育むことが先生方の重要な目標の一つですので、業務量管理もこの目標に適う形で考えていく必要があるかと思います。

それから、資料にある現状の高ストレス者の割合や働きがい、満足度の数値は、過去の調査や他業種等と比較して高いのでしょうか。

(学校教育課主幹)

比較はしていないため分かりません。

(原田教育長)

子どもたちの成長にやりがいを感じることは、教員という職業の性質上当然だと思いますので、個人的な思いにはなりますが、働きがいや満足度はもう少し高くあってほしいと思います。学校の先生は一生懸命働いていますが、昔と比べて業務の多様性や専門性が進んでいますし、教員を見る世間の目も厳しくなっていますので、先生の頑張りが認められにくいということがあるのかなと思います。

(中島委員)

業務の多様性や専門性の高まりに合わせて、チームで業務を行うことが必要になっていくと思います。働き方の指標にある時間外在校等時間の削減は分かりやすい指標だと思いますが、大事なことは先生方の生活の質が良くなることで、子どもたちへの教育の質

も高まっていくことだと思います。そういった働き方改革ができるようにしていただければと思います。

また、資料の高ストレス者の割合について、背景にある原因を分析して継続的な働き方改革につなげていただきたいと思います。業務に関しても、「やるべきこと」、「やりたいこと」、「できること」を考えていく必要があると思います。

(西島委員)

一般的な働き方改革は生産効率を上げるために行うものだと思います。教育分野に効率という言葉はなじみにくいですが、先生方がやるべきことに十分な時間をかけることができる状態と読み替えて考えればよいと思います。ICTを活用して業務を合理化し、やるべきことに使える時間を確保していくことが重要だと思います。

時間外在校等時間を削減することでできた時間が、先生がやるべきことに使われるようになったかということを調べていただければと思います。そして、業務の3分類にある、学校以外が担うべき業務や教師以外が積極的に参画すべき業務について、外部の方や専門家に渡していくことが大事であると思います。

(内浦委員)

この計画が、先生方の働き方を苦しくするものになってほしくないと思います。業務の3分類について教育委員会が具体例を作成して学校に示すといった伴走支援とセットで行うことが大事だと思います。

先日、文部科学省主催の研修会に参加させていただいた時に、コミュニティ・スクールの活動を校長の円滑な学校運営の手助けをするという形で行っている自治体がありました。地域の方にも学校運営をサポートしていただくという形も教員の働き方改革の一つの方法として考えられるのではないかと思います。

(原田教育長)

教員の自己コントロール力が高まりことで、やりたいことを行う時間が確保できるようになったり、教員の生活の質が高まることによって教育の質が高まり、結果的に子どもたちに還元されていくことが大事だと思います。

(渡辺委員)

人口減少や働き方が変革期にある中で、AI や DX による業務の合理化も進める必要があると思います。

(長坂市長)

好きなことについて、遅くまで働くことにやりがいを感じる方がいることは、一定理解できますが、管理職の視点で見れば、先生方の健康確保として早めの帰宅や休みの取得を奨励することは大切だと思います。

教育委員の皆さまの意見にもありましたが、資料にある高ストレスや働きがい、満足度の数値については、様々な視点から比較、分析して、評価することが必要であると思います。時間外在校等時間についても同様に、学校の規模や教員としての経験年数など、どういった属性の先生に時間外在校等時間が多いのかという分析を行い、対応策を考えていく必要があると思います。

(教育部長)

ほかに何かありますか。それでは最後に、市長にお願いしたいと思います。

(長坂市長)

本日は活発な議論をありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。

連絡事項

- ・ 次回開催日程 令和8年8月24日（月）15:00～

(教育部長)

以上で、令和8年度第1回豊橋市総合教育会議を終了します。ありがとうございました。